

*American DJ*®

# X-COLOR LED PLUS

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は American DJ X-COLOR LED PLUS をご購入頂き誠にありがとうございます。X-COLOR LED PLUS は DMX 規格に対応した LED カラーチェンジャーです。サウンドアクティブモードでの使用が可能な他、DMX コントローラーを使って操作することもできます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

## 製品の特徴

- 10W LED×1
- サウンドアクティブ機能（マイク内蔵）
- 8 カラー + 白
- ビーム角:13 度
- DMX 対応（3DMX チャンネル）

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

## 安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。本体に異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談下さい。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置して下さい。また、電源ケーブルは踏まれたり挟まれることのないようご注意下さい。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。本体を他の機材と接続する際には、必ず電源ケーブルをコンセントから外して行って下さい。
4. 電源、電圧が正しい事を確認して下さい。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用下さい。また、アース端子は必ず接続して下さい。
5. 電源ケーブルをコンセントから抜く際は、必ずプラグを持って行って下さい。
6. 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。
7. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となります。
8. 本体は壁から約 15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意下さい。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
9. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意下さい。感電や火災の原因になります。
10. デイマーパックからの電源供給は行わないで下さい。
11. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外して下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡下さい。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

## 操作メニュー

メニュー	選択画面	機能
Addr	1	DMX スタートアドレスの設定
	5 12	
SLNd	SL 1	スレーブモード “ノーマル”
	SL 2	スレーブモード “2 ライトショー”
	SL 3	スレーブモード “3 ライトショー”
	SL 4	スレーブモード “4 ライトショー”
SOUN	on	サウンドアクティブモード ON
	off	サウンドアクティブモード OFF
bLNd	No	ブラックアウトの解除
	yes	ブラックアウト
LEd	on	ディスプレイの点灯
	off	ディスプレイの消灯
d ISP	d ISP	ディスプレイの正転
	dS IP	ディスプレイの逆転
tEst		オートテスト
tEMP		温度表示
FhrS		灯体の稼働時間表示(消去不可)
ver		灯体のソフトウェアバージョン
rSet		リセット

MENU ボタンを長押しするか、約 8 秒間操作を行わないと、設定画面から戻ります。

## Addr DMX アドレス設定

1. ディスプレイに“Addr”と表示されるまで MENU ボタンを押して、ENTER ボタンでサブメニューへ進みます。
2. ディスプレイに任意の DMX アドレスが表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定してください。

## SLNd マスター/スレーブ設定

1. ディスプレイに“SLNd”と表示されるまで MENU ボタンを押して、ENTER ボタンでサブメニューへ進みます。
2. “SL 1”、“SL 2”、“SL 3”、“SL 4”の内、任意の設定が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定します。“SL 1”に設定した灯体はマスター機と同様の動作、“SL 2”に設定した灯体はマスター機と反対の動作になります。

## SOUIn サウンドアクティブモード設定

1. ディスプレイに“SOUIn”と表示されるまで MENU ボタンを押して、ENTER ボタンでサブメニューへ進みます。
2. サウンドアクティブに設定する場合は“on”、サウンドアクティブを解除する場合は“oFF”と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定してください。

## bLNd ブラックアウト設定

1. ディスプレイに“bLNd”と表示されるまで MENU ボタンを押して、ENTER ボタンでサブメニューへ進みます。
2. ブラックアウトに設定する場合には“yes”、ブラックアウトを解除する場合は“no”と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定してください。

## Led ディスプレイの ON/OFF 設定

1. ディスプレイに“Led”と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してサブメニューへ進みます。
2. ディスプレイを消灯させるには“oFF”、ディスプレイを点灯させるには“on”と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定してください。

## dISP

ディスプレイ表示の正転/逆転の設定

1. ディスプレイに“dISP”と表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押すと、ディスプレイの表示が逆転します。ディスプレイを正転に戻すには、もう一度 ENTER ボタンを押します。

## test

テスト動作

1. ディスプレイに“test”と表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押すと、セルフテストプログラムが稼動します。

## temp

灯体の温度表示

1. ディスプレイに“temp”と表示されるまで MENU ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
2. 灯体の温度が表示されます。確認画面から戻る場合は MENU ボタンを押します。

## FhrS

稼働時間表示

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイに“FhrS”と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
2. 稼働時間が表示されます。確認画面から戻る場合は MENU ボタンを押します。

## ver

灯体のソフトウェアバージョン表示

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイに“ver”と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
2. 灯体のソフトウェアバージョンが表示されます。確認画面から戻る場合は MENU ボタンを押します。

## rSet

本体のリセット

1. メニューボタンを押し、ディスプレイに“rSet”と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押して確定すると、本体がリセットされます。

## 操作モード

- サウンドアクティブモード : 内蔵マイクで感知した外部音に反応して動作します。
- マスター/スレーブモード : 複数の X-COLOR LED PLUS を繋げて同期させます。
- DMX モード : DMX コントローラーで操作します。

### サウンドアクティブモード

本体のマイクで感知した外部音に反応して内蔵プログラムが動作します。前述の「サウンドアクティブモード設定」に従って、本体をサウンドアクティブモードに設定してください。

### マスタースレーブモード

最大 16 台の X-COLOR LED PLUS を連結し同期させることができます。マスターに設定した灯体に従ってスレーブ灯体が動作します。マスタースレーブモードでは、X-COLOR LED PLUS はサウンドアクティブ動作となります。

1. 本体の背面にデジタル 3 ピン XLR ケーブルを接続し、灯体を直列に連結して下さい。マスターとなる灯体が端になるようにし、マスター灯体の XLR メスに 3 ピン XLR ケーブルオスを接続します。ケーブルが長い場合、最後の灯体にターミネーターを接続することをお勧めします。
2. マスターに同期させるスレーブ灯体の設定を行います。前述の「マスター/スレーブ設定」に従って、スレーブの設定を行ってください。接続した全てのスレーブ灯体がマスター灯体に同期して動作します。

サウンドアクティブモード時、本体がマスターに設定されている場合は MASTER インジケーター、スレーブに設定されている場合は SLAVE インジケーターが点灯し、音を感知した場合にはサウンドアクティブインジケーターが点灯します。

### DMX モード

外部 DMX コントローラーで操作することができます。

DMX コントローラーと X-COLOR LED PLUS を 3 ピン XLR デジタルケーブルで接続し、X-COLOR LED PLUS 本体で DMX アドレスを設定してください。DMX 信号を受信すると、X-COLOR LED PLUS の DMX インジケーターが点灯します。設定が完了したら、DMX コントローラーで X-COLOR LED PLUS を操作して下さい。

## DMX 表

チャンネル	DMX 値	動作
1	0 - 14 15 - 28 29 - 42 43 - 56 57 - 70 71 - 84 85 - 98 99 - 112 113 - 127 128 - 255	<u>カラー</u> ホワイト オレンジ ブルー グリーン イエロー ピンク ライトブルー ライトグリーン ライトイエロー レインボーエフェクト 遅→速
2	0 - 255	<u>ディマー</u> 0% - 100%
3	0 - 7 8 - 15 16 - 131 132 - 139 140 - 180 181 - 189 190 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	<u>シャッター/ストロボ</u> ブラックアウト シャッター オープン ストロボ 遅 → 速 シャッター オープン シャッター オープン 遅 → 速 クローズ シャッター オープン シャッター 速 オープン → 遅 クローズ シャッター オープン ランダム ストロボ シャッター オープン

## UC3コントロール

様々な機能をコントロールするためのUC3コントローラー(別売)を使用することができます。

STAND BY	暗転	
FUNCTION	1 同期ストロボ 2 非同期ストロボ 3 サウンドストロボ	カラー切り替え ※Functionボタンを押す毎にカラーが切り替わります。
MODE	サウンド(LEDオフ)	ショー(LEDオン)

## DMX-512 について

### DMX-512

DMX-512 とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN/OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより、複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより、DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

### DMXリンク

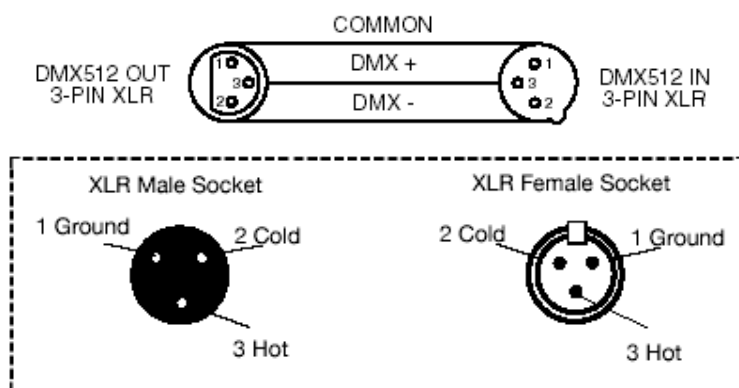
DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番と、DMXのアドレス指定は関係ありません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

### DMX ケーブル

X-COLOR LED PLUS は 3 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面の操作パネルで設定して下さい。DMX 機器との接続は、3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照して下さい。

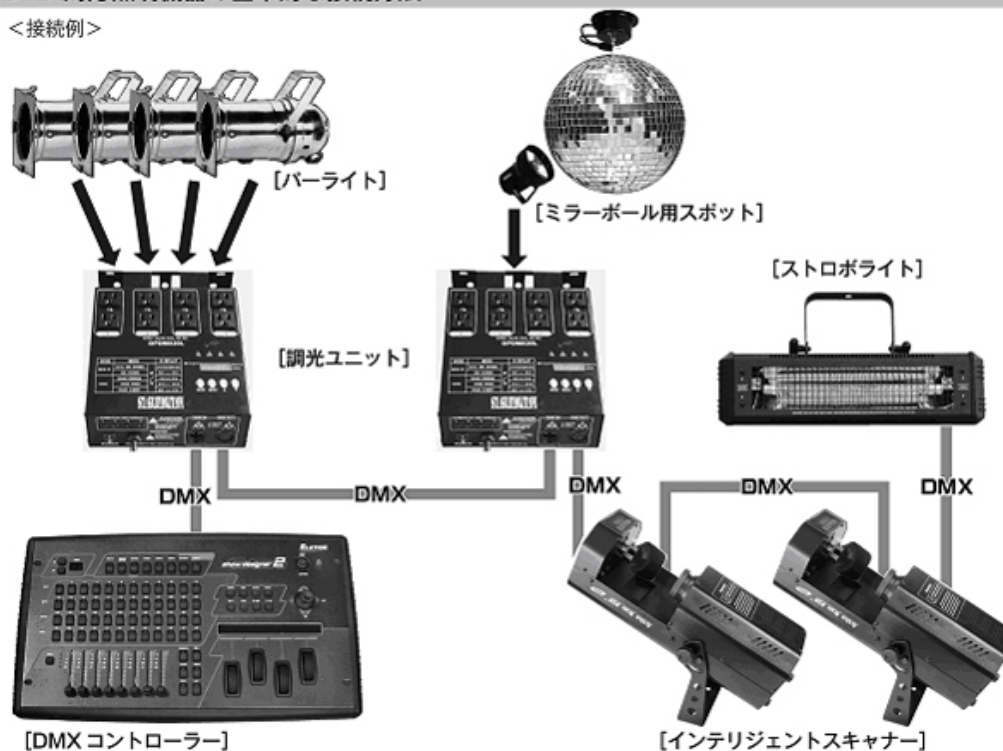


### 5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに、5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを X-COLOR LED PLUS に接続する際は、変換アダプターをお使い下さい。

## DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>





- ・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
- ・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線して下さい※。
- ・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取って下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※—長距離の配線について—

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。ターミネーターの作成方法は下記を参照して下さい。

### ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

## ゴボの取り外し方

1. 本体底面にあるネジ 2 本をプラスドライバーで取り外してカバーを開けます。
2. 本体内部のノブを手で回して緩め、ゴボスロットを引き出します。
3. ゴボを押さえている針金をつまんで取り外し、ゴボを取り外します。

## フォーカス

本体前面のレンズ部を回すことにより、フォーカスの調整を行うことができます。

## ヒューズ交換方法

1. 電源ケーブルを本体から抜いて下さい。
2. 電源ケーブルの隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

## メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

### 外側のレンズ <一週間に一度>

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

### 内部レンズ <一ヶ月に一度>

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取って下さい。

### ファン、通気孔 <一週間に一度>

■ファンの動作不良、通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファンや通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ファンや通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

### 内部各種センサー <一ヶ月に一度>

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認する為のセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

### 信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアーダスターやブラシで埃を除去して下さい。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

### ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

## 故障かな？と思ったら

X-COLOR LED PLUS が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認下さい。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせ下さい。

症状		確認事項
電源が入らない		<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい電源・電圧に接続されているか</li> <li>電源ケーブルが損傷していないか</li> <li>ヒューズが切れていないか</li> </ul>
DMX で動作しない	DMX 信号インジケータが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続に問題がないか</li> <li>正常な DMX ケーブルを使用しているか</li> </ul>
	DMX 信号インジケータが点灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>DMX チャンネルが正しく設定されているか</li> </ul>
サウンドアクティブで動作しない		<ul style="list-style-type: none"> <li>マスターとスレーブの設定が正しく行われているか</li> <li>小さい音や高音でないか</li> </ul>

## 基本仕様

LED	10W × 1
カラー	8 カラー + 白
ビーム角	13 度
DMX チャンネル数	3 DMX チャンネル
DMX 入出力端子	3 ピン XLR
消費電力	28W
ヒューズ	20mm 2A タイムラグ
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	W20 × H19.7 × D19.7 cm
重量	3.0kg

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。



## 保証書

### 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。